２０１３年１２月３日（火）　　第　１　号　　瓜幕中学校１年Ａ組

# 北海道拓殖鉄道　学習レポート

## 拓殖鉄道の人生

北海道拓殖鉄道は、創設者中木伊三郎氏によって昭和３年に開業し多くの鹿追の人々を乗せてきた。堀川昌廣さんの話では、拓殖鉄道ができる前までは馬車による移動だったので、できたおかげですごく便利になり瓜幕も盛んになったという。線路の間の幅は７６１mmあった。昔の瓜幕駅の線路は、斜めで今の鉄塔のある場所のあたりだった。

次に、旧狩勝ミュージアムの増田秀則さんの話では、昭和の初めのころ線路を造るときは、重機がなかったのですべて人力で行われていた。アーチなどを造るときには、高い足場を造りコンクリートの液を上まで運んでいた。拓殖鉄道には、「８６２１」・「８６２２」の２つの機関車があった。（右の写真が８６２２機関車）

しかし、昭和４６年に拓殖鉄道は全線廃止になってしまった。だが、拓鉄を愛する鹿追の人々は寄付金を出し合い現在も「鹿追駅跡地」に保存されている。

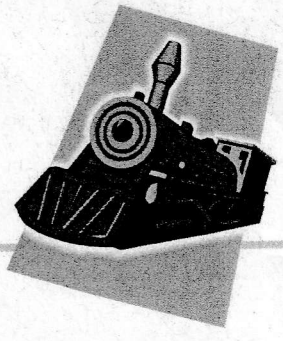
http://www.morimori-rr.com/z-morimoriweb/morimori

## 拓鉄についての感想

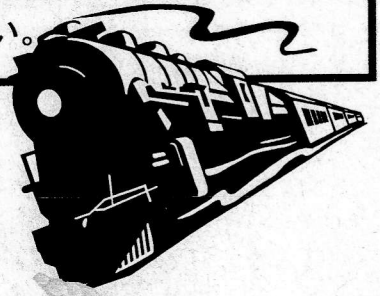
昔、拓鉄があったことについて今後鹿追の若い人たちや、町外から来た人たちにわかってもらえるように宣伝があったら積極的に参加し多くの人に拓殖鉄道についてもらえればいいと思った。

拓殖鉄道について調べてみての感想は、「８６２２」機関車が走っている時代の人たちはどのようにのっていたのかと思った。

５年後には拓殖鉄道開業１００周年なので、そのイベントがあればぜひ僕も参加してみたいと思った。



## あとがき

学習レポートを書いてみての感想は、拓殖鉄道についてのまとめをしっくりと書き、わかりやすい学習レポートにすることができたと思う。

これからも積極的に新地球学に取り組んでいきたい。